

事務事業評価表 平成22年度

政策 安心を感じる保健・医療・福祉の充実  
 施策 社会保障の充実  
 基本事業 市営住宅の整備

事業名 **団地集会所維持管理経費**

[5139]

部名	建設部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	非対象
課名	建築住宅課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 団地集会所
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 集会所利用者が安心して利用できる。
	(事務事業の内容、やり方、手段) 団地集会所の維持・管理に要する経費
	手段

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	施設数	箇所	5	5	5	5
対象指標2						
活動指標1	利用可能日数	日	307	308	307	308
活動指標2	維持管理経費	千円	2,775	2,844	2,925	2,854
成果指標1	集会所使用件数	件	811	850	774	800
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	2,775	2,844	2,700	2,854
正職員人件費 (B)		千円	4,187	3,343	4,149	833
<b>総事業費 (A) + (B)</b>		千円	6,962	6,187	6,849	3,687

費用内訳	
21年度	報酬 1,800千円、需用費 749千円、役員費 45千円、委託料 77千円、使用料及び賃借料 29千円

## 事業を取り巻く環境変化

事業開始 背景		事業を 取り巻く 環境変化	
------------	--	---------------------	--

### 21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業  
妥当である  
妥当性が低い

理由  
・  
根拠は？

市営住宅入居者の共同の福祉のために必要な施設として整備したものであり、適正な管理が必要である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい  
貢献度ふつう  
貢献度小さい  
基礎的事務事業

理由  
・  
根拠は？

入居者相互の親睦の場としての役目を果たしている。団地内自治会等のサークル活動の使用が多く、特に高齢者の方々の使用が多いことから福祉施策面での貢献度は大きい。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由は何ですか？

あがっている  
どちらかといえばあがっている  
あがらない

理由  
・  
根拠は？

年度により利用状況に増減が見られるが、高い利用実績がある。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大  
成果向上余地 中  
成果向上余地 小・なし

理由  
・  
根拠は？

利用制限があり、成果向上の余地は小さい。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある  
ない

理由  
・  
根拠は？

必要最小限の費用で行っている。